



高石シーサイド フェスティバル

TAKAISHI SEASIDE FESTIVAL

2017. **6/18**

PM 4:00 START
浜寺公園南児童遊戯場特設ステージ
(花火打上はPM 8:00 を予定)



最新情報はこちらから
@takaishi.seasidefestival



※内容・スケジュールは予告なく
変更となる場合があります。

問合先 高石シーサイドフェスティバル実行委員
会事務局 (総合政策課内) ☎(275) 6138

本市では、待機児童0や小1からの英語&ICT教育、
中学校までの完全給食など、子育て世代の満足度をた
たかーくする施策を展開しており、市の魅力的なPRポ
イントとして発信しています。フェスティバルでは、小
さな子どものいる世代の皆さんも、安心して楽しめるよう
準備を進めていますので、家族揃ってお越しください。

たかいたかいグランプリ開催!



夢を描いた空き缶を親子で仲良く、
たかく、たかーく、積み上げよう!

対象 未就学時とその保護者

※時間の都合上、参加人数に限りがあります。

積み上げた
高さが勝負の
決め手よ!



たかいたかい
市。



【注意事項】

- 園内は全面禁煙です。
- 花火の打上直前は、混雑が予想されますので時間に余裕を持ってお越しください。
- 自転車でお越しの際は、必ず地図上に示された駐輪場へ止めてください。
- 車でのお来場は控え、公共交通機関をご利用ください。

♪ タイム ♪ スケジュール

- 16:10 高石市民音楽団吹奏部演奏
- 16:35 キッズダンス
- 17:00 スーパーマリオ
(握手会・クイズ大会・撮影会)
- 17:40 たかいたかいグランプリ
- 18:00 高石ご当地芸人ショー
(ピンポンキング、暁光雄)
- 18:20 高石市婦人会高石音頭 ほか
- 18:35 桜花昇るミニコンサート
- 19:05 スーパーマリオ
(握手会・クイズ大会・撮影会)
- 19:30 和太鼓パフォーマンス
- 19:55 花火セレモニー
- 20:00 打ち上げ花火 (約 25 分)

高石シーサイドフェスティバルの ルーツを紐解く

今年で5回目を迎える高石シーサイドフェスティバル。その場所に秘められた歴史と少し先の未来についてご案内します。

白砂青松の景勝地は 東洋一の海水浴場に



会場付近の高師浜は、古代以来、白砂青松の景勝地として百人一首をはじめ多くの和歌に詠み込まれ、天下にその名を知られていました。

明治37年に起きた日露戦争により、本市と泉大津市の海浜一帯には、国内最大級の「濱寺ロシア人俘虜収容所」が設置されました。高石市史には、当時の人口の約8倍にあたる約2万8千

ステージ イベントが 目白押し！ お見逃しなく！

スーパーマリオブラザーズ マリオ ～握手会・撮影会～



© Nintendo 観覧無料

時間 1回目17:00～ 2回目19:05～
場所 浜寺公園 南児童遊戯場

桜花昇る ミニコンサート



元OSK日本舞踊団
トッパスター
桜花昇る

大咲せり花

蛇那マリカ

高石で当地 芸人ショー



ピンボンキング

人のロシア人が収容され、時ならぬ賑わいを見せたと記されています。
大正4年には、人口4809人をもつて町制へ移行。その頃から昭和初期にかけて濱寺・高師浜海水浴場には、ひと夏に約百万人の観光客が訪れる東洋一の海水浴場・リゾート施設として、賑わいを見せました。



濱寺・高師浜海水浴場

高師浜線開通で進む 洋風建築による宅地化

大正8年、先人による敷地の寄附もあり、南海高師浜線が延長、終点として高師浜駅が設けられました。それに伴って宅地化が進み、洋風住宅の建築が特徴の伽羅橋園が開かれました。高級リゾート地としての歴史のはじまりです。



洋館が建ち並ぶ伽羅橋園

浜寺公園での花火大会は 大正4年から!?

宅地化とともに浜寺公園は、大阪市近郊のレクリエーションの地として発展。海水浴場の賑わいとあわせて、大正4年から「浜寺デー」が催され、毎年、海岸では花火が打ち上げられていたそうです。



大正4年に始まった海辺の花火

急速な発展のはじまり 臨海コンビナートの造成

昭和30年代後半からのコンビナート造成後、高石のみならず大阪・関西経済を牽引。今では200社以上の中小企業が存在しています。

また、臨海部の発展に伴い、内陸部

の人口が大きく増加し、ベッドタウンとして急速に市街化が進みました。



造成が進む臨海コンビナート

地方創生の時代を迎え 地域ブランドの確立へ

フェスティバルは、市民の親睦と郷土愛の育成を図って開催していますが、同時に、羽衣天女や工場夜景などと同じく、高石独自の地域ブランドの確立に向けた事業の一翼を担っています。

先人が遺した歴史ある市内唯一のウォーターフロント「浜寺水路」。そこでは、今も各種ボート競技が開催されていますが、その資源に再び光をあて、新しい人の動きを生み出すことこそが、地域の活性化につながると信じて今年もフェスティバルを開催します。高石から泉州、大阪へと賑わいを広げていきたいと考えていますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

めっちゃ、“いいね!”

高石桜フォト コンテスト

結果発表

今年で4回目を迎えた「めっちゃ、“いいね!”高石桜フォトコンテスト」には、全41作品が寄せられました。

たくさんのご応募ありがとうございました。審査の結果、次の3作品が入賞作品に決定しましたのでお知らせします。

問合先 総合政策課 ☎(275)6138



入賞作品を紹介♪



📷 撮影者コメント

散り始めた桜、自転車と夕焼けを絡めてみました♪

阪口 祐介

審査委員長短評

夕照と桜色がまじったライティングが何とも素晴らしい。自転車もよいアクセントになっており、日本の自然美を豊かに映し出している。卓越した表現力だ。



📷 撮影者コメント

夕陽に照らされた刻々と表情を変える桜と、いつも変わらぬ姿でそびえ立つ鉄塔を撮りました。

山田 珠美

審査委員長短評

真ん中の鉄塔が少し気掛かりだが、時代性を表現化。何気ない日常の1コマ、ややハイキー調に図案化された効果は面白い。



📷 撮影者コメント

くもり空の日でしたが、一番良い場所でバーベキューをしていましたので了解を得て撮りました。

井阪 明

審査委員長短評

春先の明るい日差しが若い二人を包みこみ、ヒューマンリレーションを感じる。お二人の世界と季節感を見事に表現している秀作。

すべての応募作品は
こちらからご覧になれます♪

スマートフォン・カメラ付き携帯電話用QRコード▶
[<https://www.facebook.com/takaishi.photocontest>]

